

元阿知須町長2人の長寿祝賀会

「うれしさいっぱい」三好さん
「卒寿、白寿を目指す」米飯田さん



阿知須町長を務めた三好正之さん(99)と飯田宏史さん(88)がそれぞれ白寿、米寿を迎え長寿を祝う祝賀会が25日、山口市阿知須の宇部72アシンスパホテルであった。合併前の同町の元職員や現役の市職員ら約80人をはじめ、来賓で渡辺純忠市長も駆け付けた。参加者の拍手に迎えられ、三好さんは白色、飯田さんは黄色のちやんちゃんを着て登場。元同町教育長や元町長秘書らが花束を贈呈して祝った。

今秋で百寿になる三好さんは「お祝いの言葉やたくさんの方に出席をいただき、うれしさいっぱい」。飯田さんは「本日の感謝感激を糧に、卒寿、白寿を目指して頑張りたい」とあいさつを述べた後、元同町助役の原田清さんの首頭で乾杯。参加者は2人を囲み、昔話に花を咲かせた。

三好さんは1917年生まれ。太平洋戦争中に陸軍軍医として従軍し、復員後は地元で阿知須共立病院を開設。80年に同町長に就任し、8年間務めて任期満了で退任した。医療法人協愛会会長を務めている。

飯田さんは祝賀会で乾杯する三好正之さん(左手前)と飯田宏史さん(右から2人目)ら1125日、山口市29年生まれで、50年に同町入庁。三好さんの後任として88年に町長に就任し、2005年の1市4町合併に伴い退任した。阿知須まち開発社長としてまちづくりに取り組んでいる。

子ども映画祭」作品募集 美祿市

は、10月8日に同市秋芳町秋吉の秋吉台国際芸

綾羅木海岸13キロボラ

